

目標達成計画

事業所名 グループホーム吉井マリル
作成日 平成 26年 9月 8日

項目 10	運営に関する利用者、家族等意見の反映
内容	利用者や家族が意見、要望を管理者や職員などならびに外部者へ表せる機会を設けそれらを運営に反映させている。
自己評価	外部相談の場所連絡先など書面での紹介をしている。 ご家族の面会時質問や要望・意見など言いたせる環境や時間を管理者が作っている
外部評価	実践状況 家族の面会頻度はまちまちだが、月一回の利用料支払は原則現金で、ホーム長との面談の機会づくりにもなり家族からの相談に乗るなど信頼関係が構築されている 次のステップ 事業所として運営に関する意見等を聴取するよう能動的な機会づくりを期待したい

目標達成に向けた具体的な取り組み内容

1 施設全体が指摘事項について考える。

- ① 利用者様を看取ってほしいという意見を受け入れているのは行っているのは運営に関する家族の意見の反映ではないのか？
- ② 家族会の時にアンケートを取ってみたいのでは？
- ③ グループホームは従来、自立支援で共同生活介護なのだから医療関係と連携を図りながら精神的に重度であり他者の生活を乱したり、身体・疾患の重度者を受け入れしていることは家族の意見をしっかりとみ取っているのだと思っていた。それは意見の反映ではないのですか？
- ④ 運営と言われると分からないですか、家族がこうしてほしいなどニーズは報告し、ほぼ応えてきたつもりです。ホーム長から家族からの意見・要望があった時は指示がでている。
- ⑤ 記録に残せばいいのでは？
- ⑥ 推進会議でやっているのは違うのですか？

2 目標達成するための具体案

- ① 事業所として記録に残すべきだったと思うので今後は残していく。
- ② 運営会議で家族からの要望を記録している。今後も続ける
- ③ アンケート的なことをしていく。

目標達成に要する期間

- ① 今後意見のあった時は記録する
- ② 12月のマリル会(クリスマス会)のお知らせにアンケートを配布する。

目標達成したと考えられる具体的な内容

常に話し合った内容は面会簿に記録しているので継続している。
全体的なアンケートを作成している。

目標達成計画

事業所名 グループホーム吉井マリル
作成日 平成 26年 9月 8日

項目 35	災害対策
内容	火災や地震、水害時に昼夜問わず利用者様が避難できる方法を職員全体が身につけるとともに地域との協力体制を築いている
自己評価	災害避難訓練は年二回行われている。訓練後は反省会を行っている。回覧板で協力者を求めている。消防署との合同訓練をした。
外部評価	実践状況 「マリル通信」にて近隣の皆様に協力の呼びかけをしている。事業所を地域の避難所として提案し、おむつや食品を1週間程度備蓄している。 次のステップ 避難訓練に家族・近隣住民の更なる参加を促すよう具体的対策を検討することを期待

目標達成に向けた具体的な取り組み内容

1 施設全体が指摘事項について考える。

- ① 避難訓練は行っているがいざとなったら確に動けるか心配。
- ② 通報は自動通報装置があるので安心。誘導がうまくできるか、近隣の手助けしてくれる人が認知症を理解して誘導してくれるかが心配。
- ③ できれば災害はあってほしくないが、土砂崩れ・水害のある地域ではないけど、活断層が近いのが心配。
- ④ 3.11の時は職員が素早く行動できたので転倒者・不安になる方もいなかった。避難する時ほとんどの方が誘導に応じてくれ、怒る人もいたが半ば強引に避難した。それでも中には外に出たくないと言い張って建物内に留まる人もいた。もう一度家族に周知する。
- ⑤ 地域の協力者・家族と合同で避難訓練をする。

2 目標達成するための具体案

- ① マリル会ではご家族参加で避難訓練。
- ② 秋の避難訓練は地域との合同訓練。
- ③ 避難状況の家族への説明。

目標達成に要する期間

- ① 来年5月開催
- ② 具体的な連絡事項は長寿会会長と10月の推進会議にて相談予定
- ③ 避難訓練後マリル通信にて報告。

目標達成したと考えられる具体的な内容

8月24日の推進会議で報告し今後も記録などしていく予定となっている。
またその成果を10月の推進会議で報告予定としている。